

# 歴

## 史資料館だより



No.92  
教育委員会文化財課  
文化財グループ  
(☎58-5111・75-3111代表)

### 市から新たな

### 茨城県指定文化財が誕生

市内では58件目の  
国県指定文化財

昨年12月に室町時代の掛軸「紙本墨書 聖護院道興筆天神名号」が新たに茨城県指定文化財となりました。

この掛軸には「南無天満大自在天神」と書かれており、始めの「南無」は神仏への信仰を意味しています。

次に書かれている「天満大自在天神」とは菅原道真に贈られた神号で、天神様のことを意味しており、お祈りを行

う際に掛ける掛軸です。

この掛軸には、年号の記載がありません。しかし、年号のヒントとなる花押と呼ばれるサインが掛軸の左下にあります。

これは道興という貴族の花押です。道興は、藤原氏の間でも近衛家と呼ばれる家に生まれ、出家して京都の聖護院という修験の寺院で住職を務めました。聖護院は、紀伊の熊野大社を拠点とする修験者を統括していました。

修験とは、山中で厳しい修行を行う山岳信仰で、修行者を修験者や山伏と呼びます。道興は修験者を掌握するた

め東国へ出張し「廻国雜記」という日記を残しています。文明18年(1486年)9月の日記には次のように綴られています。

おなじ国(常陸)山田慶城坊といへる山伏の坊にやどりてよめる。  
めぐり来てけふは吾妻のひたち帯 結そへてや草枕せん



花押

茨城県指定文化財  
紙本墨書 聖護院道興筆天神名号

日記のなかの、山田慶城坊は、現在の真壁町東山田地区にあった修験者の拠点で、江戸時代には蓮上院と称し、その末裔が掛軸の所有者である山田家です。道興は慶城坊に滞在し多くの和歌を詠み、その後、筑波山に登っています。



山田家に祀られる天神社と熊野神社

道興が常陸へ来たのはこの一度であり、当家の敷地には現在も熊野神社とともに天神様が祀られています。これらのことから、この掛軸が書かれたのは文明18年(1486年)9月であると確認できます。

道興は、筑波山を下山後「いさ」(伊佐々)の橋で「つくば川(桜川)」を渡っています。この橋は現在はありませんが、真壁町伊佐々地区の地名として残っています。500年の時を超えて、この掛軸が様々な歴史を私たちに伝えてくれます。

株式会社 さくらほーる 総合葬祭 こもり

# 家族葬

0120-44-4483

本社 / 〒309-1214 茨城県桜川市東桜川13-13 TEL.0296-75-4066 FAX.0296-75-2555

事前相談 受付中

